

Global EXPANSION

国際交流

国際的に通用する
バイオクラスター作りを
目指し、Bio-Sは今、
世界との連携へ

Bio-Sでは、国内外の優れたクラスターとの連携・交流を積極的に展開しています。国際的に通用するクラスター作りには、海外の優れた事例や新しい取り組みを知り、双方に情報を交換し合いコラボレーションを行なっていくことが必要不可欠です。Bio-Sではこれまで、オラン

ダのフードバレー、台湾の工業技術研究院、イタリアのボローニャ大学の食のプロジェクとの交流、ニュージーランドやフランスのクラスターとの交流などを行ってきました。また、海外との共同研究も盛んで、国際的な学会にも積極的に参加してきました。

平成22年度 第2回 さっぽろバイオクラスター国際シンポジウム



2010.11.25 THU

Sapporo Prince Hotel
International Convention center PAMIR



カナダ
グエルフ大学 (AFMNET)
Prof. Rikey YADA

機能性食品研究でのネットワーク



ニュージーランド
プラント&フード リサーチインスティテュートゼネラルマネージャー
Dr. Kieran ELBOROUGH

ニュージーランドでの食品商品化への研究戦略



フランス
ヴィタゴラ国際開発担当
Mr. Geoffroy TRINH

ヴィタゴラでの消費者を第一に考える革新的戦略
(味覚・栄養・健康)

平成21年度に引き続き開催された国際シンポジウムでは、カナダ、ニュージーランド、フランスから3名の講師を招き基調講演を行なって頂きました。食に関する先進的な取り組みや考え方を提示していただき、その後のパネルディスカッ

ションでは、健康表示の有り方について活発な議論が行なわれました。シンポジウムの前日にはBio-Sに参加する研究者と海外招聘者との研究ミーティング、当日の午前中にBio-S参加企業との会議を開催し、今後の連携につながる交

流をはかりました。シンポジウムの参加者は道外、海外からの参加者も含め200名にのぼり、Bio-Sの世界的な位置づけを明らかにする機会となりました。